

「大山自治会の活動について」
～住民に必要とされる自治会づくり～

佐藤 良子 (立川市大山自治会前会長)

プロフィール

【略歴】

- 1941年 宮城県生まれ 宮城県白石女子高等学校卒
- 1989年 有限会社エスクを設立し、取締役専務に就任、また、
- 1999年より大山自治会長に15年間就任、現在相談役。

【現在就任している職】

- ・大山MSC (ママさんサポートセンター) 会長
- ・東京都老人総合研究所介護予防区市町村サポートセンター介護予防リーダー及びシニア研究員
- ・立川・東日本大震災 避難者を支援する会 会長
- ・立川男女平等参画推進委員
- ・NPO法人全国生涯学習 まちづくり協会 理事
- ・立川市子ども支援ネットワーク (立川市要保護児童対策地域協議会)
 - *平成16年内閣府男女共同参画局「女性のチャレンジ賞」受賞
 - *平成21年2月 「全国防災まちづくり大賞」受賞
 - *平成23年10月 東京都地域活動功労者表彰
 - *平成26年11月 厚生労働大臣賞表彰

【地域活動に関する活動内容の紹介】

団地住民のニーズにあった自治会の再生計画市・能・工・商 (資料参照) を10年かけて実行し、「人が人にやさしいまち、必要とされる自治会」「ゆりかごから墓場まで」をモットーに団地住民の相談窓口の開設 (24時間対応)、「終焉記録ノート」の普及活動、皆でお見送りをする自治会葬の実施や見守りネットワークの充実等を行っています。

私の好きなまちだから、今後も創意工夫した住民のための様々な活動を行っていきたいと思っています。

著書に「命を守る東京都立川市の自治会」

大山自治会

住民に必要とされる自治会づくり
一人をたすけ、人に助けられる自治会でありたい

1. 自治会役員を選出と構成

会員数1600世帯（人口約4,000人）

（加入率100%）

三役の選出方法、会員の推薦投票

（年代別 30代～70代）

会長1名、副会長5名、会計2名、監査2名

役員会のメンバー

三役8名、区長31名、専門部長5名

（計44名）

- ・月1回定例会、情報の収集と意見交換
- ・専門部…体育部・文化部・交通安全対策部
防犯・防犯部・生活環境部
- ・基盤＝土台となっているもの
 - 市・・・住民主体の自治会
 - 能・・・能力、技術者の人材バンク
 - 工・・・工夫、アイデアで企画運営
 - 商・・・コミュニティビジネスで有効活用

2. 住民の登録の義務（非常時に備えて）

- ・全住民名簿の登録（家族構成含む）
- ・車輛の登録（自転車も含む）
- ・動物の飼育登録
- ・高齢者に対して、民生委員と連携、いざという時の連絡先の登録

3. 会計について（三本柱で別途収支決算）

①自治会費（一ヶ月1世帯 400円）

②管理費（ブロック別管理）

（ “ ” 1,500円）

③委託業務費（有料駐車場・公園委託管理）

166万円

年2回会計監査（10月、4月）

④傷害保険全世帯加入、動産保険に加入

4. 高齢者、障害者ネットワーク

65歳以上 1037人、1人暮 398人

車椅子 12人、聴覚障害者 3世帯

・地域福祉デーサービスセンター、高年齢福祉課

民生委員と連携、特別依頼訪問6世帯

・高齢者住宅（シルバーピア）火災予防講習会

（150世帯）

5. 子育て支援センター、大山MSC（ママさんサポートセンターの設立、平成11年11月）

会員数 24名（女子）

高齢者見守りネットワーク協力（別紙参照）

児童虐待防止、一時保育、子育ての相談

（24時間対応）

6. 路上違法車輛撲滅（非常時に備えて路上の確保）

昼夜間パトロール実施（毎月、定期的、98%減）

及び有料駐車場の清掃、除草作業、協力員120名）会則に
基き日当を出す。

・外来者（イベント）専用駐車場の設置（120台）

7. 防災・防犯の組織の強化

・防災組織構成（防災訓練で実施）

リーダーの育成、協力員体制の拡充

・防犯連絡委員の強化（看板設置）

・新役員交代時期、非常ベルの講習会

・立川市女性防火の会参加

8. 悪徳商法、業者追放策

業者は自治会の許可無いものは追放（110番通報）

防止例：布団、フィルター、浄水機、掃除機売り等

通報連絡方法：各区長、三役、防犯委員、立川警察と連携

9. 広報活動「大山自治会だより」発行

年12回

10. 自治会事務所と相談窓口の設置

・専従職員の配置（日給月給）

・営業場所と時間

大山自治会事務所

月・水・金 AM9:00～PM3:00

土 AM9:00～ 12:00

11. あいあいパトロール隊の結成（別紙参照）

砂川地域、立川市立第五中学校区内

（地域の20団体で構成）

普及活動（16年8月29日）

会員数 1,038名（腕章と傷害保険適用）

12. 集会所の利用

・コミュニティ会場としての利用

・サークル活動

・葬儀等の利用

・地域にも開放

13. 年間のイベント

4月 総会

5月 運動会

8月 夏まつり

9月 自主防災訓練

11月 防災ウォークラリー大会

12月 年末パトロール、一斉清掃

14. 自治会保険加入

活動保険 308,180円

動産保険 19,600円

*自分たちの出来ることは、自分たちで行動する。

*向こう三軒両隣、人と人とのつながりを大切に。

安心・安全 高齢者対策

1. 名簿登録の義務

- ・高齢者名簿の作成（65歳以上、1037人）
- ・独居者に対する親族への連絡（民生委員と連携）

2. 孤独死 0 対策

- ・両隣の見守りネット
- ・企業との連携
東京電力・東京ガス・水道局・新聞社
(検針・集金・配達等に異常を感じた時)

3. 相談窓口（24時間対応）

大山自治会事務所 月・水・金 AM9:00～PM3:00
土 AM9:00～ 12:00

4. 違法駐車撲滅で路上の確保

非常時に備えて、パトロールの強化

5. 上砂包括センター・市高齢福祉課との連携、協力

6. 老人会等の支援

7. 創年クラブ

8. 高齢者事業団「愛の樹」設立

子ども達を支えるまちづくりの取り組み

—小地域ネットワーク—

1. 住民主体、新しい「近隣、向こう三軒両隣」の支えあい、支援
(高齢者にも適応)
2. 地域、活動団体との連携
 - ・ 青少健、子ども会、育成会、大山MSC、老人会、体育会、自治会
 - ・ 民生児童委員、保育園、小・中学校、PTA地域協力体制で、日常的に取り組むのが効果的
3. 企業、行政との連携

行政・児童相談所	企業ネット・東京電力
・ 市・子ども家庭支援センター	・ 東京ガス
・ 教育相談所	・ 水道局
・ 立川警察青少年係	・ 新聞社（販売店）
4. 声かけ、見守り、ほめ育て
 - ・ 日頃からの見守り、手助けによって生活面の問題の早期発見
 - ・ 必要とされる地域教育、子育て対策（学校支援）
 - ・ あいさつ運動
5. 地域に今必要なもの
 - ・ 名簿の登録の義務（(非常時に備えて) 子ども会、老人会、全体）
 - ・ 地域住民、特に子ども（高齢者も）の現状把握（自治会等を中心にした）
 - ・ 子育て中の親同士の交流や情報交換の場
 - ・ 子どもの居場所づくり「児童館日曜開放、中学校」
「小学校、放課後教室」

大山自治会防災計画 マニュアル

—あなたの大切な人を守るために—

◎日ごろの備え 10か条

1. グラツトきたら、自分自身の身の安全をはかる
2. 火災を防ぐ（余裕が出たらあわてずに火を止める、火災に備える）
3. 家庭内での防災会議（常に話し合い）
4. 家庭と連絡方法の確認（家庭内の意思統一）
5. 自宅の脱出ルートを考える（エレベーターは使用禁止）
6. 避難路＝避難場所までの確認
7. 防災訓練への参加（自主防災組織の強化、避難誘導、避難所運営）
8. 備蓄品・非常持ち出し品の準備をする
特に・・・食料 1人 3日分の確保
・飲料水 1人 1日3ℓ 3日分の確保
・日用品（衣類、タオル、懐中電灯、ラジオ）
・医薬品（薬手帳や処方箋のコピー）
9. 家具の転倒防止・戸棚の開放防止
10. 第1次避難を各棟（区）で話し合い、区長・防災防犯担当自治会役員との連携で指示に従う
11. 第2次避難場所＝大山小学校
（避難する前にガス・電気ブレーカーを切る）

☆あわてた行動は怪我のもと、屋内での転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する

☆向こう三軒両隣

思いやりと助け合いで災害につよい自治会づくり

大山自治会のボランティア

大山自治会ボランティアチーム一覧

	活動内容	会員数(人)
1	昼夜間パトロール隊員	35
2	イベント駐車場（外来者専用）の設備・清掃	25
3	枝降し作業員	20
4	防災・防犯連絡員	26
5	子育て、高齢者支援見守りネットワーク	28
6	葬儀手伝いボランティア	25
7	違法看板撤去作業員	5
8	運動会協力員	120
9	夏まつり協力員（毎年募集）	90
10	技能者ボランティア	38
	登録ボランティア合計	412

☆ いずれのボランティアも毎年登録して頂く

☆ 東京消防庁普通救命講習受講修了者 80名 年間20名の受講方

☆ 自治会として自治会保険に加入している @210円/年×全世帯分

名称	大山MSC(ママさんサポートセンター)
活動開始年月	平成11年12月～
活動内容	<p>活動テーマ:子育て高齢者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一時保育(無料) 出産、入院、PTA行事、地域活動の時 ○幼児虐待防止(協力のネットワーク) ○育児相談(無料) 子育てでしつけ、しかり方、遊ばせ方の指導(アドバイス) 離乳食のお手伝い ○青少年の健全育成(一人で悩まず、お気軽に。秘密厳守) 非行少年・少女の親子の相談、学校・地域・民生児童委員との連携 ○相談日の設定(相談無料) 毎週 月・水・金 午後1時～3時 場所 大山自治会D集会室 ○都のフレンドホーム登録(1名) 施設の子どもを春・夏・冬休み、5月の連休時預かる (家庭での生活体験) ○外国人の相談(子どもの保育、学校、生活面) ○研修会、講座 ○24時間の対応・宿泊も可(必要に応じて) ○高齢者見守りネットワーク(登録制) ○料理講習会 ○立川東日本大震災被災者を支援
活動場所	立川市立大山小学校校区内及び砂川地区エリア
活動日・時間	定例会 毎月第4水曜日 午後7時30分～9時30分 *依頼者の必要に応じて対応している。
対象者	砂川地区の子育て中や青少年、高齢者などのいる家庭で上記の活動を利用したい方
新規メンバー受け入れの可否	否。(メンバーは女性 子育て経験者)
いれたちねっとへの掲載の可否	可。
代表者名	佐藤良子
連絡先	TEL 佐藤代表:042-535-6017 大山自治会事務所:042-537-4427
	FAX 同上(但し事務所は月・水・金・土)
	住所 立川市上砂町1丁目13番地の1 大山自治会事務所内

「ゆりかごから墓場まで」

自治会葬儀

1. 利用できる人（集会所利用）

大山自治会会員

（但し、集会所利用のみは近隣にも利用可）

2. 内容

- (1) 24時間対応
- (2) 入院先から自宅へのご遺体のひき取り手配
- (3) 死亡届、火葬の申し込み手続き
- (4) 葬儀に関するあらゆる相談

3. 執行する理由

- (1) 近くでみんなで“心からのいいお見送りを”
- (2) できるだけ経費をかけない（民間の五分之一）
- (3) 葬儀のことは、ご安心していただき、ご病人の看病に専念していただくように願う

4. その後の法的相談について

- (1) 名義変更に関すること
- (2) 遺族年金のこと
- (3) 成年後見（高齢者の財産管理）のこと

終焉ノートを書こう

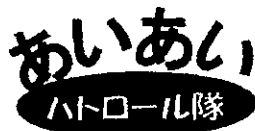
残される家族のために
自分自身の考えを残しましょう
とても大切なことです



大山自治会

自治連砂川支部及び
五中学区にお住まいの皆様方へ

平成 年 月 日
砂川地区『あいあいパトロール隊』
実行委員会



『あいあいパトロール隊』のお知らせ
と参加者募集について

この度、自治連砂川支部、各自治会、青少健、砂子連、文化会、体育会
安協、上砂校区連、小中学校のPTA等砂川地域の20団体と各小中学校
の協力で砂川地区『あいあいパトロール隊』実行委員会を発足致しました。

私たちの地域においても「空き巣」「車上荒らし」等の被害や子ども達の
交通事故も少なからず発生しています。また、子ども達や女性を狙った変
質者の出没もひんぱんにあり、自分たちの住んでいる地域は自分達で守ろう
の意気込みで発足させました。

地域を愛する心・お互いのあいさつ・子ども達を見守る優しい眼（EYE）
と犯罪を絶対見逃さない眼（EYE）の『あい』をテーマに砂川地区の自主
防犯パトロール組織を『あいあいパトロール隊』と名づけました。

地域の皆様（参加者）には買い物や犬の散歩、ジョギング、自宅周辺での
作業時等、ご都合の良い時間に『あいあいパトロール隊』の腕章を着けてい
ただき、また小中学校の通学時や下校時に『おはよう』『こんにちは』
『おかえりなさい』等のあいさつ運動もお願いできればと考えております。
子どもの安全を守る上で「あいさつ」はとても大切なことです。

こうした運動を通して地域全体の安全や防犯効果を高めることを活動の
目的としています。また、このような活動を通じて住民間士の交流が
より一層深まればと考えております。是非 皆様方の一人でも多くの
参加をお願い致します。

●後援協力：立川第五中学校・第九小学校・大山小学校・上砂川小学校
保護司・民生児童委員・藤幼稚園

- | |
|--|
| <p>*1 自治会加入者は各自治会に申込書を提出ください。
*2 各学校から配布の場合は担任に申込書を提出ください。</p> |
|--|

☆自治会は何故必要なのでしょう

=一人一人が思うこと、考えること=

人間みんな、徳とか損ということで物事を考えると、一理あるけれど、ボランティア（正に自治会活動は無償）社会には、沢山の救いがあります。思いやり、助け合いの社会です。人間一人では生きてはいけません。特に災害や非常時のことは常に考えておかなければなりません。

とにかく、自分はここに生まれ、この地に縁あって居を構えたのです。ここに住んで良かった、ここに生まれて良かった、ここで恋をし、ここで子どもを育て、ここで死ぬことができ幸せだった、そう思えるような街、まち、を一人ひとり心をひとつにし、仲間みんなで作ることが、自治なのではないかと思えます。

私たち役員は「身のまわりを良くみて、人助けが出来ないかを考える。」そして人助けの出来る社会、行政に頼らない自治組織を私は社会的発明と呼んでいます。

人を助け、人に助けられる自治会でありたいです。

大山自治会

「備えよう・大地震！！ 東日本大震災へ支援活動から」

大山自治会の対応と方法

被災者受け入れの記録(日記風メモ)2011. 3. 28より

【総括】

2012年1月31日現在

被災者出身地域	福島県(相馬市、南相馬市、いわき市、喜岡町、大熊町、双葉町、浪江町、広野町) 宮城県(石巻市、塩釜市、仙台市、南三陸町)、岩手県
---------	---

- ☆ 大山MSCが、毎日5～6人、支援物資の管理・整理整頓・清掃にあたってくれている。
- ☆ 支援金は、5月14日現在、1,426,149円
- ☆ 被災者入居者の80%は高齢者であり、安否確認を毎日行っている。これには、民生委員3名も協力して頂いている。

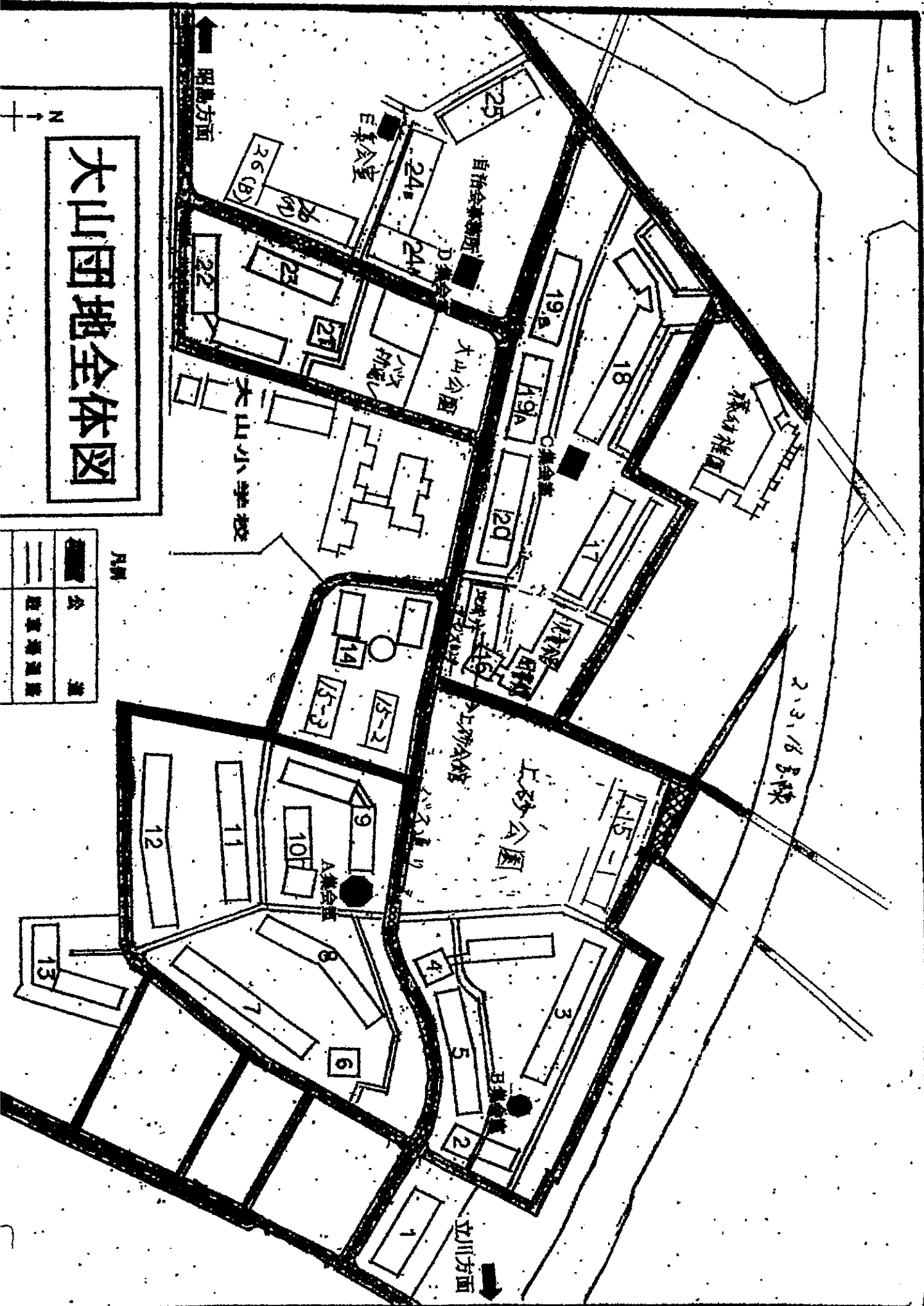
【支援して頂いた団体、企業リスト】(5月20日現在)

1. 国際ソプロチミスト 2. 中村建設KK 3. JAみどり女性部 4. 農協 5. 自治連砂川支部
6. 生活ネットワーク 7. 立川青年会議所 8. 真如苑 9. 大山MSC 10. 大山自治会
11. 砂川地区農業実行組合 12. 立川商店会 13. 民生委員6支部 14. 赤十字立川支部
15. 社会福祉協議会 16. 辰巳屋 17. バーバー(トコヤ)・アート 18. 立川工業会 19. 三番組自治会
20. 個人(60人)、団体(地域)15 21. 西武信用金庫 22. 立川法人会 23. 立川市 24. 衛エスク

【日記風メモ】

3月28日(月)	東京都西部建設事務所より避難者入居のお知らせがあった。20世帯60人。 ◎ 自治会広報【大山自治会だより】にて、全戸配布して被災者受け入れと、温かく迎え入れの協力をお願いした。
3月30日(水)	自治会緊急三役会、大山MSC(ママさんサポートセンター)、受け入れ準備のための会議、打ち合わせ会。 ☆ 身体一つでの避難のため、生活用品なし。東京都よりの提供品は5点(冷蔵庫、TV、ガス台、照明、ふとん)。
3月31日(木)	地図の作成、知らない場所での生活のため、近隣の商店街、買い物ルートの案内、団地内の一覧地図とTEL番号を記載した。
4月1日(金)	午後3時、大山自治会A集会所にて、入居者説明会。 (出席者)都住宅局、都西部建設事務所、立川市福祉総務課、立川市社会福祉協議会、北部西かみすな地域包括支援センター、民生委員(担当)、大山自治会三役。 ◎ 被災者の入居者名簿作成。 ◎ 必要物資の聞き取り、リストの作成(10人で行う)。 ◎ 病氣、精神面のケアの必要な人の相談、聞き取り。
4月2日(土)	リストに基づき、三宅島避難者受け入れの時のリストの利用。 企業、団体、個人に物資と支援金の依頼。FAXで1日より行う。 ◎ 自治会の会員にも【大山自治会だより】にて通達。
4月2日(土)	午前、午後、D集会所に次々と物資が届く。～驚き……でした。 ◎ 生活用品(食器、なべ、炊飯器、ストーブ、ホットカーペット、こたつ、包丁、まな板、はし、あらゆる食器、ヤカン) ◎ 毛布、タオルケット、肌掛け、バスタオル(140組)、タオル(400枚)、ハンドタオル、洋服、肌着、(50種類以上) ◎ バケツ、ほうき、洗濯機、掃除機、電子レンジ、オーブントースター、洗剤、ティッシュペーパー、トイレトペーパー、くつ下、帽子、カバン、ショッピングバック、トイレカバー 他、各種 半日で、D集会所が身動きとれないほど、物資の山でした。～感謝です。

4月2日(土)	PM1時 支援物資のリストづくり、被災者の全世帯に配布の日程のお知らせをする。 ～ 4月4日(月)より配る。
4月3日(日)	物資の種別仕分けをボランティア(大山MSC)に依頼・協力(10人)
4月4日(月)	物資の種類ごとの仕分け、ボランティア、大山MSC、民生委員協力。
4月4日(月)	午後10時より、配布準備OK、開始～PM4時まで。 荷物配達、軽トラック一台・運転手一人・手伝い一人 ◎ 生活面でお金も不足している状況。社協からすでに10万円も借りた人もいる。 ◎ 義援金から～支援金の基金活動に変更する。
4月5日(火)	国立災害医療センターに病人の受け入れ要請 ～ OK
4月6日(水)	立川市社会福祉協議会、立川市生活安全課、リサイクルセンター課長と話しあい ◎ 今後の必要物資 自転車(全世帯)、茶ダンス、衣装ケース、衣装箱(ベビーダンス) などの要望 ～ リサイクルセンターへ。 被災者をお連れして、選んでもらうよう依頼し、OKが出た。 AM11時に、リサイクルセンターへ視察に行く。被災者の必要とされるものに売約済みの札を張る。
4月6日(水)以降	物資の調達時間を決める。PM1:00～4:00までとする。 午前中は、種分けと整理にした。 毎日、ボランティアスタッフ、手弁当で、20人のサイクルで当番制で手伝ってもらう。
4月7日(木)	物資の中に不要な物が沢山出る為、ありがた迷惑の物資が出てきた。
4月8日(金)	不要な物資の整理をし、ゴミ対策課の協力でひきとりに来てもらう。 毎日のように、被災者の方々の顔が見えるようになった。名前も部屋もすっかり把握できた。 朝のラジオ体操にお誘いした。
4月8日(金)	山本農園より、ホウレン草、20世帯分支援。
4月9日(土)	AM8:20～9:00 NHKで立川大山に、避難された内容を放送された。
4月9日(土)	蛭田農園より、ネギ、20世帯分支援。
4月10日(日)	読売新聞社より、希望する被災者宅に無料配布の申し入れ。
4月11日(月)	加藤農園より、ネギ、ホウレン草、20世帯分支援。
4月11日(月)	立川市より、電気ポット、炊飯器、ホットカーペット、届く(立川市の広報課にて募集をしてもらった。 被災者の希望する品物が毎日のように届けられる。 ◎ 被災者支援の窓口を大山自治会に指定される(窓口の一本化、立川市生活安全課)
☆ 4月19日より、新たに45世帯入居予定、185人。	
4月12日(火)	立川市リサイクルセンターへ、被災者をバスで送り迎え。必要な家具を選んでもらう。
4月12日(火)	一世帯につき米5Kg、支援金各4万円を配布、自転車7台配布した。



大山団地全体図

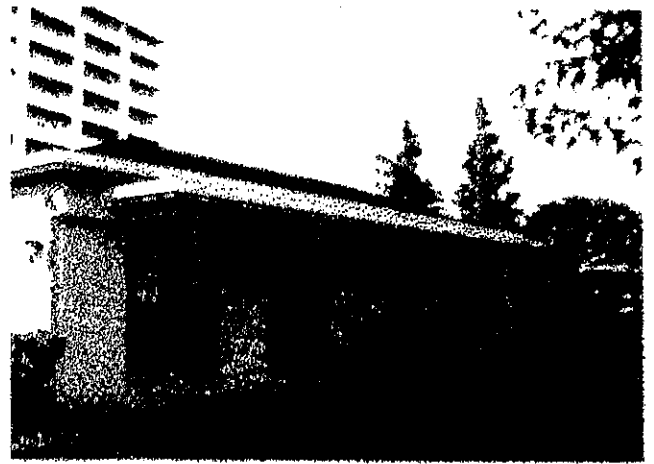
凡例

	道
	公
	遊歩道

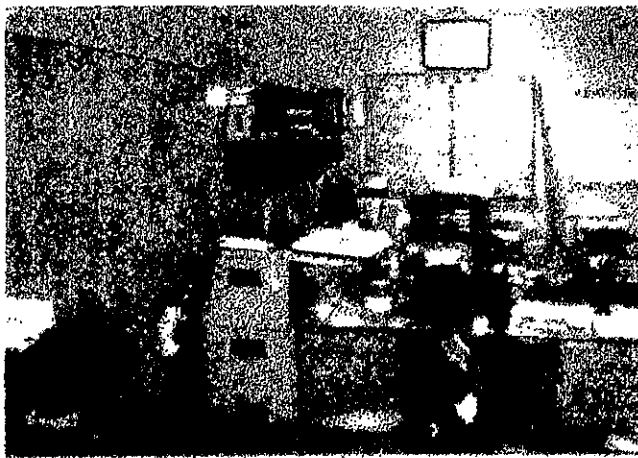
立川大山団地



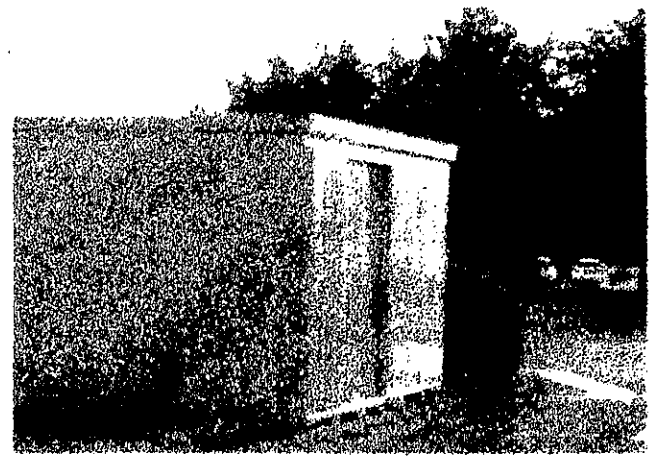
【大山団地全景】



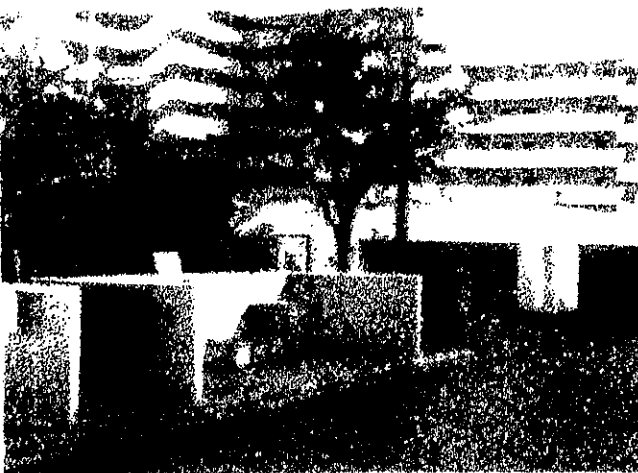
【自治会事務所全景】



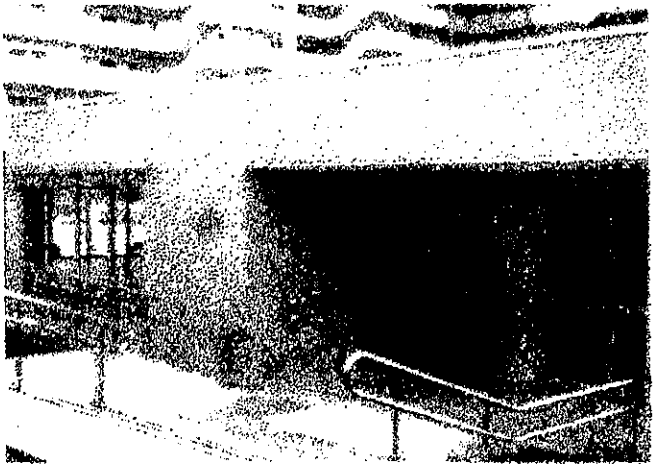
【自治会事務所】



【自治会防災倉庫】



【自治会ゴミ収集場所】



【新しい棟の事務所】